

その5 シンポジウム 「未来を島々を結ぶみなと」の開催について

平成十五年二月三日 那覇市内で、シンポジウム「未来と島々を結ぶみなと」が開催された。主催は、沖縄総合事務局、沖縄県、観光コンベンションビューロー等で構成される実

行委員会。三百人余りの聴衆を迎え、ゲスト対談とパネルディスカッションの二部構成で行われた。第一部では、沖縄においても居を構え生活をされている女優の秋吉久美子さんをゲストにお迎えし、名桜大学小濱哲教授を聞き手として、沖縄の海や自然の魅力、みなとのあり方等について、生活実感や豊富な海外経験を交えて対談していただいた。

秋吉さんは、沖縄が世界有数の美しさを誇る海を持ち、魅力ある文化を有する一方、ブレゼンテーションの不十分さやみなとを含めた受入体制の不備を指摘、今後、「来る」ときにきめいて、帰るときに納得できる玄関としてのみなと」を期待して

いることを述べた。続いて第二部の、パネルディスカッションでは、小濱哲教授をコーディネーターに、観光専門家の岩佐吉郎氏や國場幸一郎氏、アナウンサーの佐渡山美智子氏、元ボクシング世界チャンピオンの平仲信明氏をパネラーとして、「沖縄におけるクルージングとみなと」について、様々な切り口によりお話しいただいた。

その中で各パネラーより、「人集う楽しいプラザ」であるみなとづくり(岩佐氏)、「中国経済を引き込む手段」であるクルージング(國場氏)、訪れる人の期待に応える魅力あるみなとづくり(佐渡山氏)、沖縄の魅力である海を地域住民が再認識する必要性(平仲氏)等を提案をいただいた。



地域の理解のもと観光資源を掘り起こし、受け入れ態勢の強化、受入施設であるみなとづくりについて地域と密着して推進していく必要性を述べた。